フードハンティングラリー

野外炊事を行う前に、グループごとに所内を歩いて、食材カードを探し、集めた食材カードと食材を引き換える活動です。グループごとに順路を決め、食材カードを獲得していくため、作戦を練る等自然とグループ内の会話が弾み、野外炊事へスムーズにつなげていくことができます。

所内での活動

場所	所内全域	対象	小学生以上
所要時間	１～1.5 時間	人数	１グループ ６人～１０人
時期	４月～１１月 （野外炊事と同じ）	天候	小雨可 （荒天時は相談）
指導	なし	提出書類	なし
経費	なし		

活動の 教育的効果	（１）仲間と意見交換しながら順路を決定し、食材カードを探すことで、コミュニケーション能力の向上を図ることができる。 （２）仲間とともに協力して、調理する食材カードを獲得することにより、達成感を味わうとともに仲間意識が深まり、協調性を育むことができる。
準備 するもの	**団体が準備するもの**
	□個人：筆記用具、水筒、帽子、タオル、時計、雨具 □団体：救急バッグ
	交流の家が貸し出すもの
	□団体：食材カード、「ハンティングマップ」、「ハンティングの指令書」、バインダー ※バインダーは１グループ１セットの貸し出しが可能。
備考	□指令書とハンティングマップはホームページからダウンロード可能。 ※指令書はカレーライス、ピザ、ほうとう、焼きそば、焼きそば・バーベキュー、焼きそば・米飯、炊き込みご飯・豚汁。 □開始前の食材カードの配置や、終了後の回収は各団体が行う（15～30 分かかる）。 □雨天時はフードハンティングラリーを実施せずに、野外炊事の開始時刻を早めることも可能（事前に食堂へ連絡する必要があるため、調整時に要相談）。

活動の流れ

フードハンティングラリー

	時　間	項　目	内　　容	備　　考
活動内容（手順）	事前	事前準備 班分け	□指導者による食材カードの設置。 □指導者は「ハンティングマップ」・「ハンティングの指令書」の受け取り。	※野外炊事の班で行う
	10 分	説明	□全体の流れ（ルール）の説明 □「ハンティングマップ」の説明	
	60～90 分	活動	□参加者は「ハンティングマップ」の説明と「ハンティングの指令書」をもとに食材カードを探す。 □指導者は定位置を決め、参加者の「ハンティングマップ」に指導者待機場所の印をつける。 □参加者に集合時間を必ず伝える。 □指導者は食材の受け取りを行う。	※参加者に対して、何かあった場合は、近くの引率者に連絡することを伝える
	20 分	食材の引渡し	□食材カードと食材を交換する。 □食材の引渡しが完了し次第、野外炊事に移る。	
	30 分	片付け	□食材カードを回収する。 □貸出物品を返却する。	
引率者の配置・人数	□指導者１名が必ず本部（スタート・ゴール地点）に残る。 □他の指導者は、食材の受け取りを行い、指導者定位置場所にて待機する。			
想定されるリスク	□転倒、木の枝等による傷　等 □他団体の活動への支障 □他のプログラムへの時間的な圧迫（食材カードが見つからないトラブルや食材の受け渡しに時間がかかる等により、後の活動プログラムへ支障を来す場合があるため、十分に時間を確保できる日程で実施する）			
指導のバリエーション	□チームビルディングを目的とした指導			

所内での活動